



東中川地域まちづくり協議会

安全安心マップ



コンビニ 事故が多いところ
スーパー 基本の通学路
信号 歩道橋 橋



●は子ども110番の家
あぶないとき、こまったときには
この旗のあるおうちのひとに
そうだしましょう。



このマークが
あるはしよに
なっているよ！

※掲載している情報は2024年3月末日現在のものです。

生野区 関係機関

警察:110
◎生野警察署
☎6712-1234
消防:救急:119
◎生野消防署
☎6731-0119

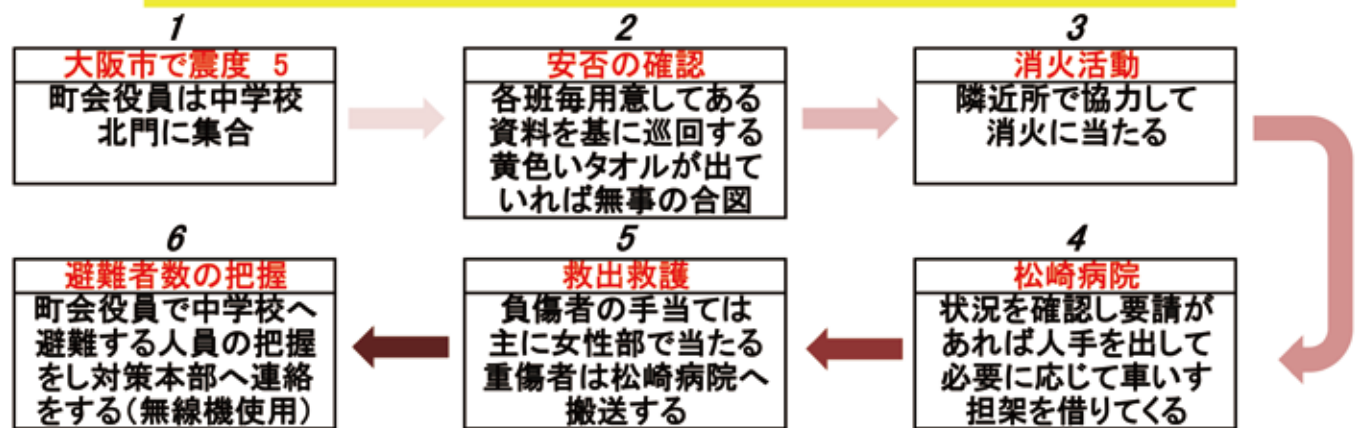
◎東中川小学校
☎6752-2865
◎東生野中学校
☎6752-2885
◎天理教善上分教会
☎6751-0308

◎大阪市総合
コールセンター
(区役所・水道・下水 道路 ゴミ等)
☎4301-7285

◎関西電力
☎0800-777-8022
◎大阪ガス(お客様センター)
☎0120-0-94817
◎大阪ガス
(ガス漏れ通報ダイヤル)
☎0120-0-19424

◎水道局 今里営業所
☎6972-4133
◎生野区役所
☎6715-9986
◎生野区民センター
☎6716-3020

どうする？大地震



非常準備品(チェックシート)

●飲料	●生活用品
<input type="checkbox"/> 飲料水(2ℓボトル)	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 非常用給水袋	<input type="checkbox"/> バスタオル
●食糧	<input type="checkbox"/> 毛布
<input type="checkbox"/> アルファ米	<input type="checkbox"/> 雨具
<input type="checkbox"/> 乾パン	<input type="checkbox"/> 予備電池
<input type="checkbox"/> ラーメン	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ
<input type="checkbox"/> 缶詰類	<input type="checkbox"/> ガスボンベ
<input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> 鍋、やかん
<input type="checkbox"/> スープ	<input type="checkbox"/> ラップ
<input type="checkbox"/> 味噌汁	<input type="checkbox"/> アルミホイル
<input type="checkbox"/> ビスケット	<input type="checkbox"/> 皿、コップ、割りばし
<input type="checkbox"/> キャンディ	<input type="checkbox"/> スプーン、フォーク
<input type="checkbox"/> チョコレート	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ、石鹸
<input type="checkbox"/> 塩	<input type="checkbox"/> ドライシャンプー
●衣料	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器
<input type="checkbox"/> 上着	<input type="checkbox"/> 新聞紙、安全ピン
<input type="checkbox"/> 下着	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
<input type="checkbox"/> 靴下	●その他
	<input type="checkbox"/> ブルーシート
	<input type="checkbox"/> 養生テープ

どうする？風水害

風が強いとき

① 路上にいるとき
強風で瓦や看板が飛んだり、街路樹などが倒れたりします。無理して歩かず近くの頑丈な建物に避難しましょう。

② 屋内にいるとき
風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。風が強い場合は窓に近づかないようにしましょう。

大雨のとき

① 車を運転しているとき
すでに浸水している道路に差しかけたら水の流れを横切る方向へ移動し、高台へ避難しましょう。

② 路上にいるとき
浸水してきたら、しっかりした建物の3階以上へ階段を使って避難しましょう。



避難をするとき

① 動きやすく安全な格好で避難
ヘルメット等で頭を保護し、すべりにくい靴を履きましょう。裸足や長靴は危険です。荷物は最小限に、両手がふさがらないようにしましょう。

② 深さに注意
歩行可能な浸水は、男性で70cm、女性で50cmが目安です。無理をせず高い所で救援を待ちましょう。

③ 足元に注意
水面下にはふたの外れたマンホールや側溝などの危険な場所があります。長い棒などを杖代わりにして足元の安全を確認しながらあるきましょう。



減災について



災害を防ぐことを防災と言いますが、防波堤や防潮堤を整備し高い所に避難所を造っても、地震や集中豪雨そのものを防ぐことはできません。自分たちで災害に備えておくこと「防ぐことのできない災害からの被害を少しでも減らす」それを減災と言います。

最初は自助（自分の力で助かる）

1 怪我をしない

時間帯にもよりますが、多くの人が家の中で怪我をします。倒れた家具の下敷きや、棚から落ちてきた物で頭を打ったりします。

- ① 高い所の物は落下しないように工夫しましょう
- ② キャスター付の重たい物は動かないように工夫をしましょう
- ③ 家具や冷蔵庫等は倒れないように固定しておきましょう



ガラスが割れて飛び散ったりします。

- ④ ガラスの扉などは飛散防止のフィルムやシートを貼っておきましょう
- ⑤ 食器類が飛び出さないように工夫をしておきましょう
- ⑥ 足を切らずに家の中を歩けるように上履きを用意しておきましょう



2 火を出さない

火の出る原因はガスコンロやストーブだけではありません。電気のショートによる火花等もあります、もし火が出たら揺れが収まってから対応しましょう。

- ⑦ ご家庭でも消火器を用意しておきましょう
- ⑧ 火事の3原則 大声で知らせる（隣近所に応援を求める）
3分～5分以内で火を消す（手近な物も利用する）
ダメだと思ったら迷わず逃げる（ドアや窓は閉めて逃げる）



次に協助（隣近所で協力して助かる）

3 家族の無事が確認できたら

- ⑨ 近所の様子に気を配り、人手がいるなら助け合う



4 近所が落ち着いたら

- ⑩ 町会の一時避難場所は中学校北門です、町会役員はそこで対策に当たります。お手伝いをお願いします、役員だけでは足りません、少しでも速く多くのことに対応しなければなりません。ご協力をお願いします。

5 避難所の開設

むやみに避難所を混乱させない。町会役員は最初にみなさんの安否確認をします。

- ⑪ 我先に避難所へ急がない。自宅待機できる人は家に居てください。
- ⑫ 家が壊れたりして避難を余儀なくされた場合は、ガスの元栓は閉め電気のブレーカーは落として来てください。

* 以上は自分たちで備えができる一例です。



最後に公助（行政の助けが来ます）